

平成30年度 福島県立新地高等学校「学校評価」比較グラフ

<回答者数:生徒185名、保護者177名、教職員20名>

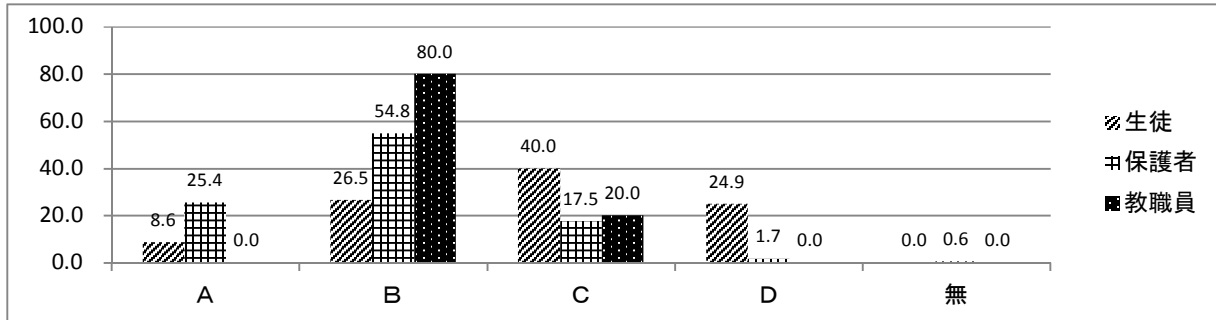
No.1

A:全くその通りである
B:どちらかと言えばその通りである
C:どちらかと言えば違う
D:全く違う
無:無回答

1 基礎学力の定着と向上 ※()は教職員への質問

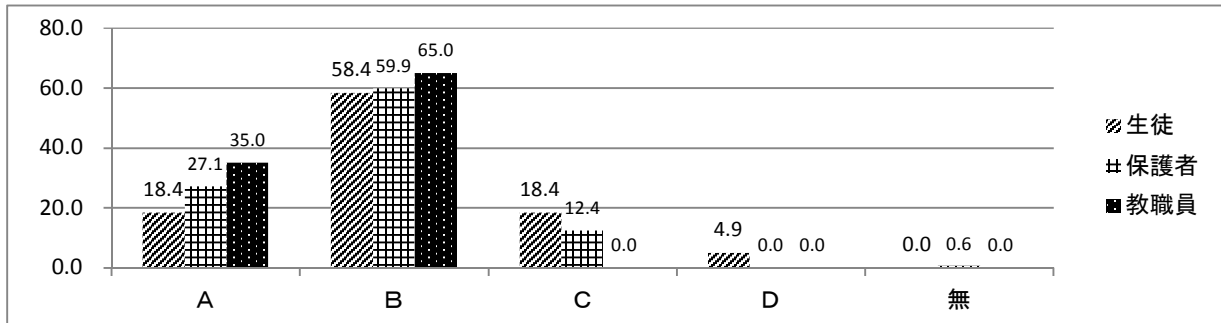
(1)あなたは、家庭学習の習慣が身に付いているか

(私たちは、生徒に家庭学習の習慣を身につけさせる工夫をしている)



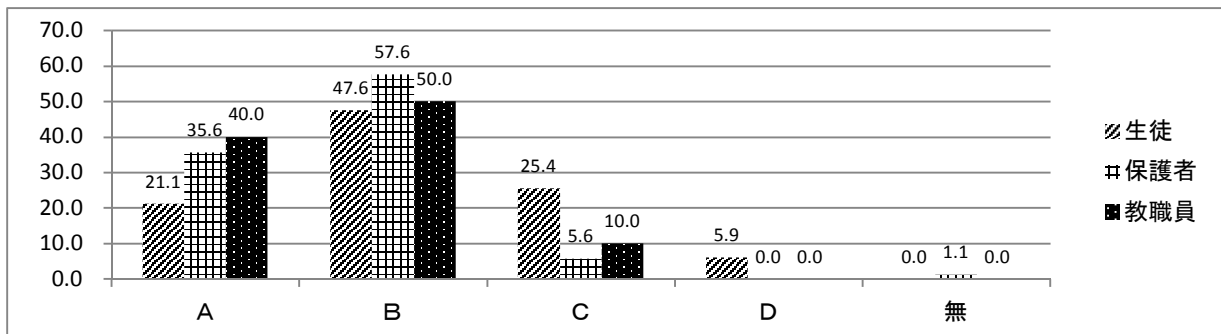
(2)先生は、わかりやすい授業を展開しているか

(私たちは、生徒にわかりやすい授業を展開するよう努めている)



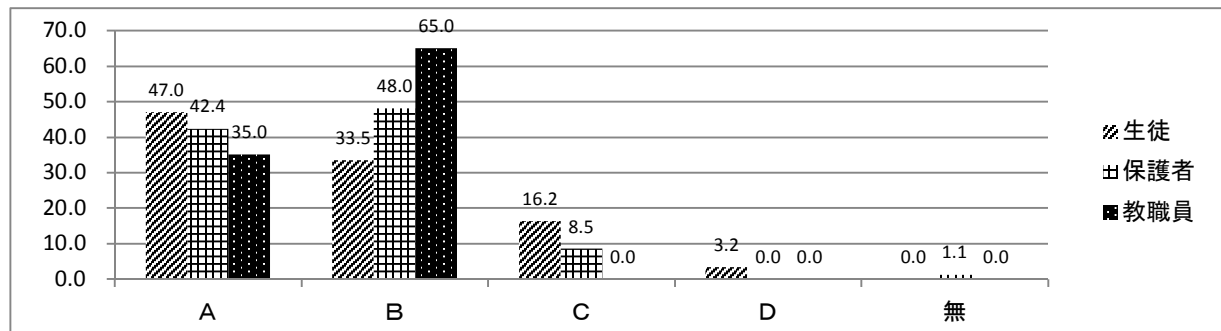
(3)あなたは、「マナトレ」や認定テストに真剣に取り組み、基礎学力を身につけようと努力している

(私たちは、「マナトレ」を計画的に実施し、生徒の基礎力向上育成に努めている)



(4)あなたは、自ら健康管理に気をつけ、欠席・遅刻・早退がないように心掛けている

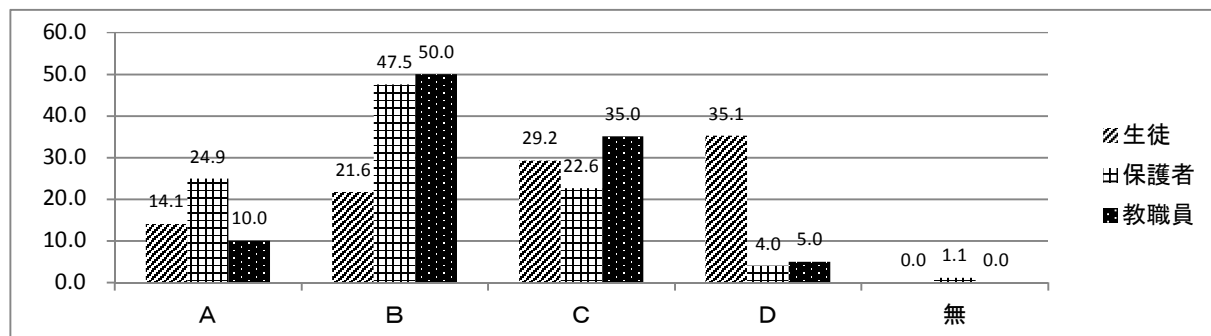
(私たちは、生徒の健康状態を把握し、欠席・遅刻・早退がないよう働きかけている)



(5)あなたは、日頃から本を読んでいる

(私たちは、教育活動の中で、生徒に読書に関する情報を提供し、生徒の読書環境作りに努めている)

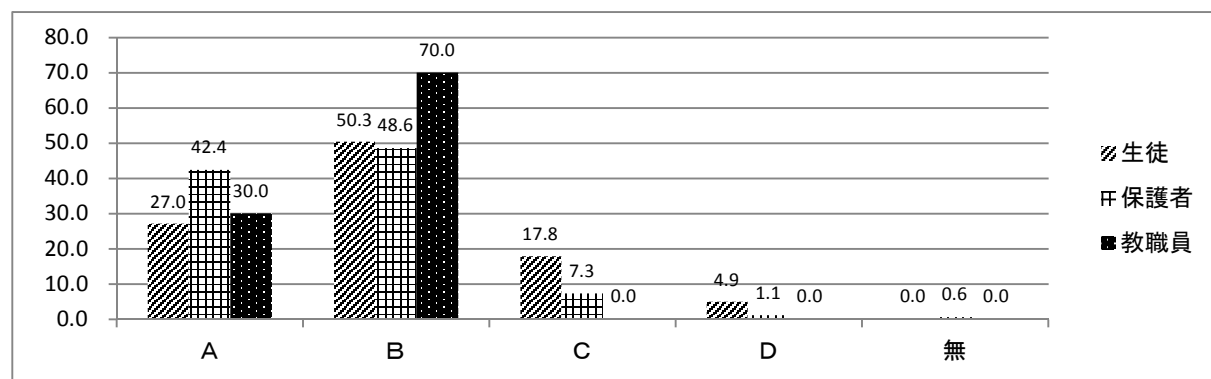
No.2



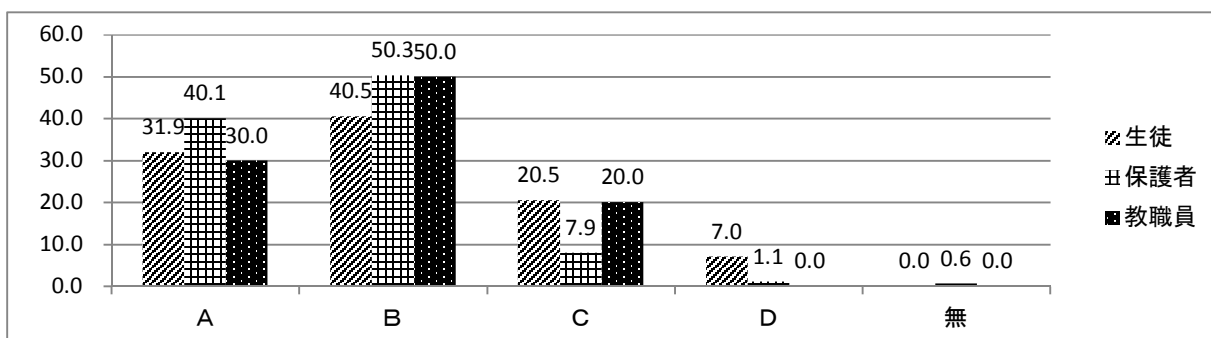
2 豊かな心を育む生徒指導 ※()は教職員への質問

(6)あなたは、元気なあいさつや早寝・早起き・朝食摂取を心掛けるなど生活習慣の乱れに注意している

(私たちは、挨拶指導や早寝・早起き・朝食摂取の指導を行うなど生徒の生活習慣の確立に努めている)

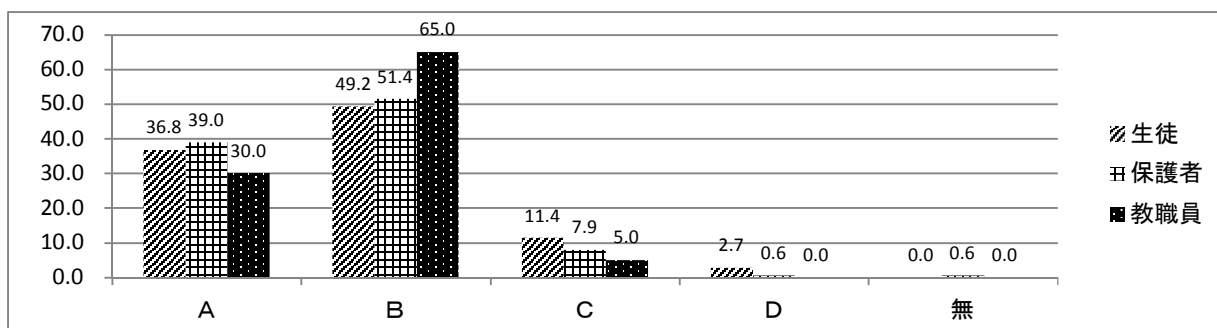


(7)あなたは、部活動をはじめ、学校行事、委員会活動、生徒会行事に積極的に参加し、一生懸命活動しているか(私たちは、生徒に部活動への入部を積極的に促すとともに、生徒が主体的に学校行事や委員会活動を行う指導をしている)



(8)あなたは、先生の注意を良く聞き、違反行動のないように気をつけている

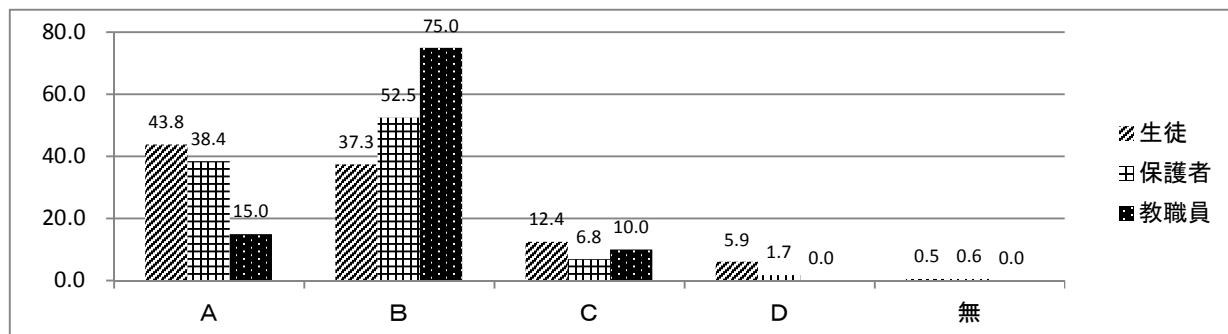
(私たちは、生徒の安全を守るために生徒の問題行動や事故の未然防止に努めている)



(9)あなたは、自転車マナーの向上や「4+1」ない運動に努めている

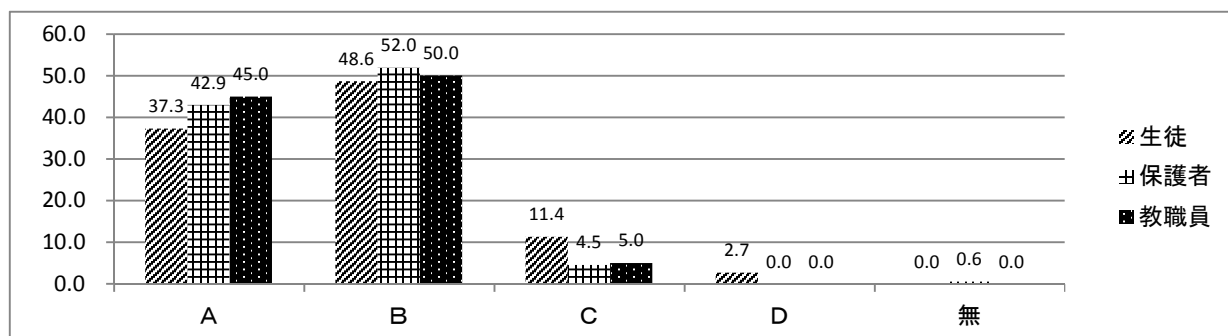
(私たちは、生徒の安全意識を高めるために自転車マナー向上や「4+1」ない運動の推進に努めている)

No.3



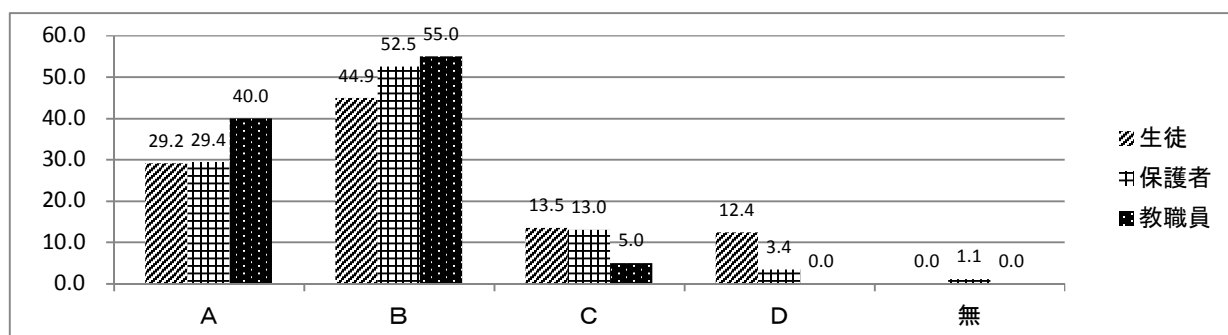
(10)あなたは、清掃の大切さを理解し、家庭や学校において清潔な環境を保つよう心掛けている

(私たちは、日頃より清掃の大切さを生徒に伝えとともに、清潔な学校環境を保つため清掃指導を行っている)



(11)学校は、あなたの悩みを聴いてくれる体制を整えている

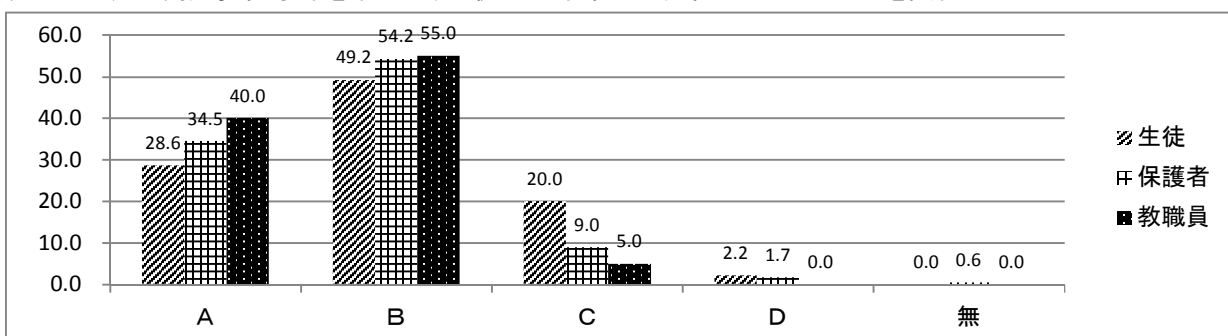
(私たちは、個別面談やスクールカウンセラーとの連携をととして、教育相談の充実を図っている)



3 コースの充実と進路指導 ※()は教職員への質問

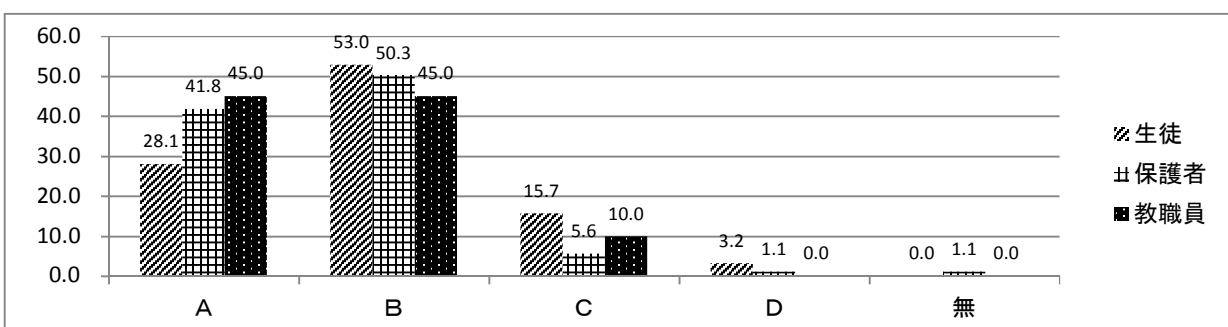
(12)学校は、生徒の進路希望に合わせたガイダンスを実施している

(私たちは、進路指導部・学年を中心に、生徒の進路希望に合わせたガイダンスを実施している)



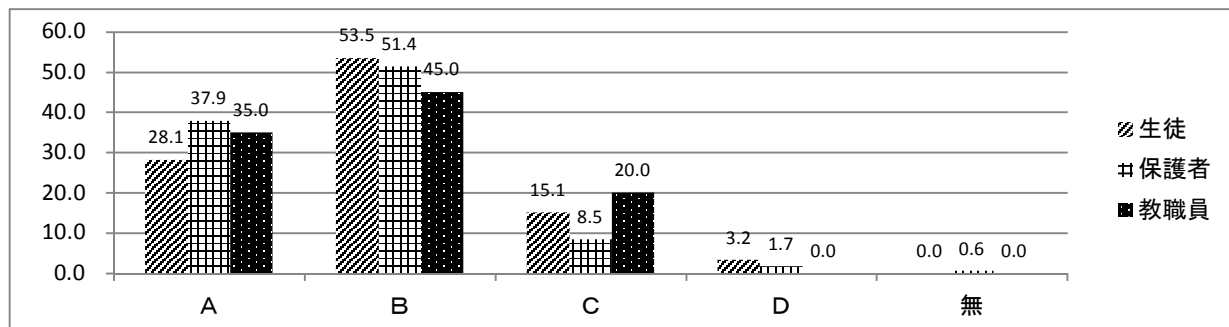
(13)学校は、地域の人材や企業の協力を得て生徒の進路意識向上に努めている

(私たちは、地域の人材や企業の協力を得て生徒の進路意識向上に努めている)

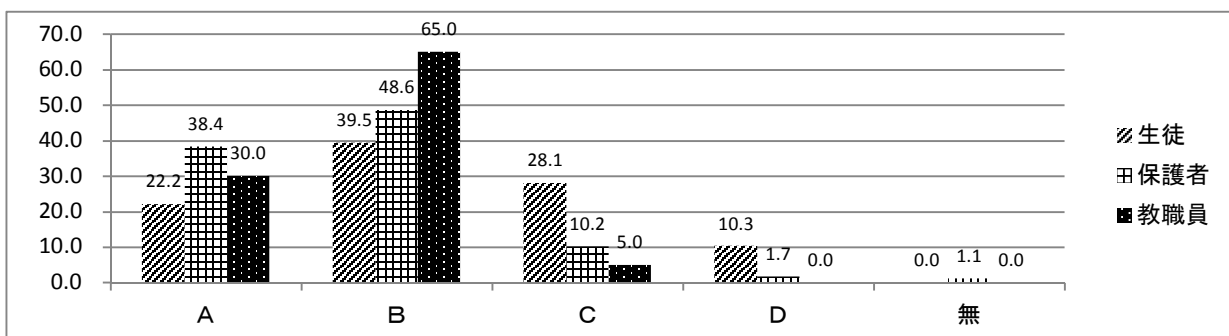


(14)学校は、進路指導部・学年を中心に就職・進学模擬試験を実施し、生徒の進路意識向上を図っている
 (私たちは、進路指導部・学年を中心に就職・進学模擬試験を活用し、生徒の進路意識向上を図っている)

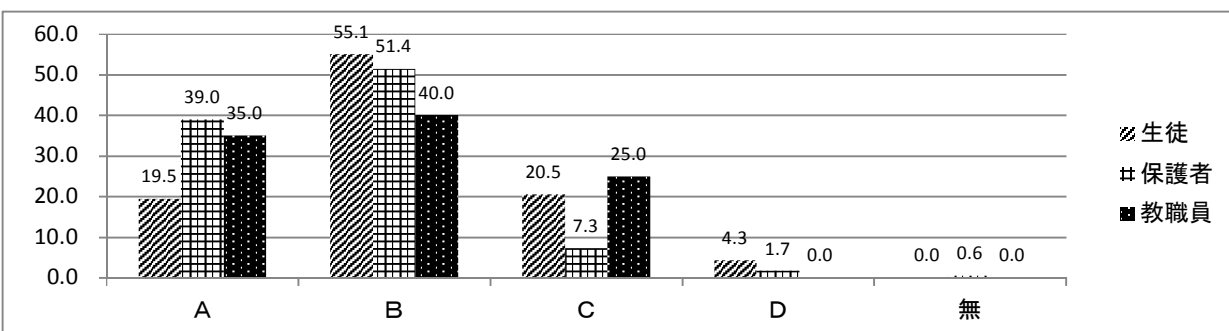
No.4



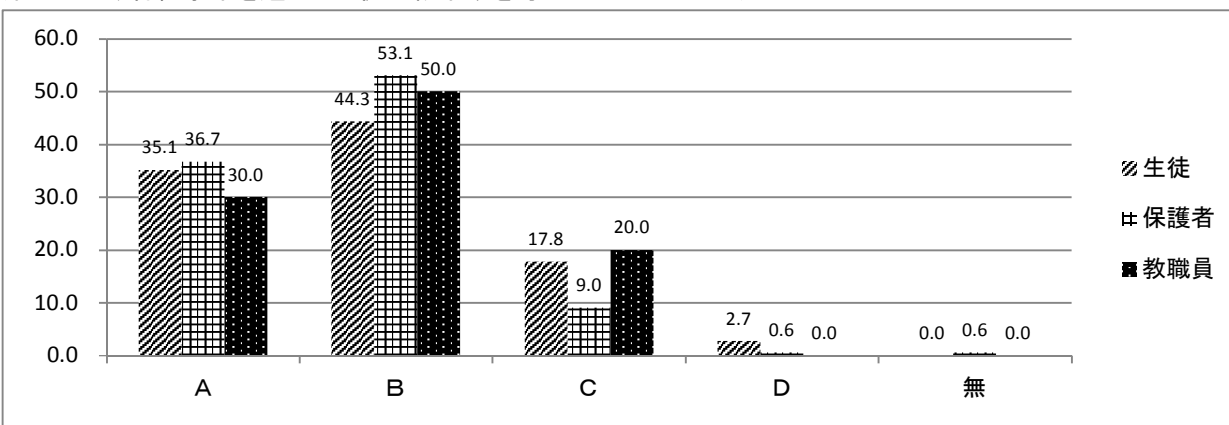
(15)あなたは、進路実現に向けて、各種資格検定受験に取り組んでいる
 (私たちは、生徒の進路実現に向け各種資格検定受験を奨励している)



(16)学校は、生徒が早期に進路決定ができるよう個別進路相談等の体制整備をしている
 (私たちは、生徒が早期に進路決定ができるよう個別進路相談等の体制整備に努めている)



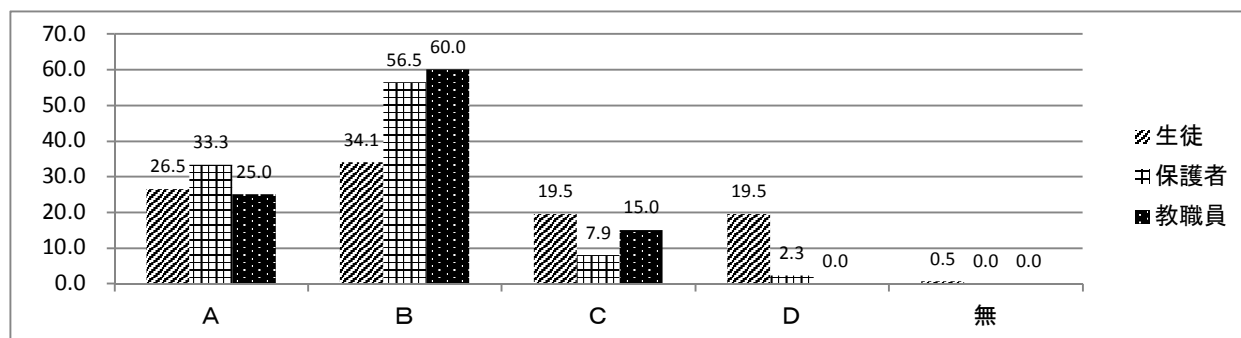
(17)あなたは、昨年よりも将来の職業について考えたり、行動したりするようになった
 (私たちは、各種事業を通して生徒に職業観を身につけさせている)



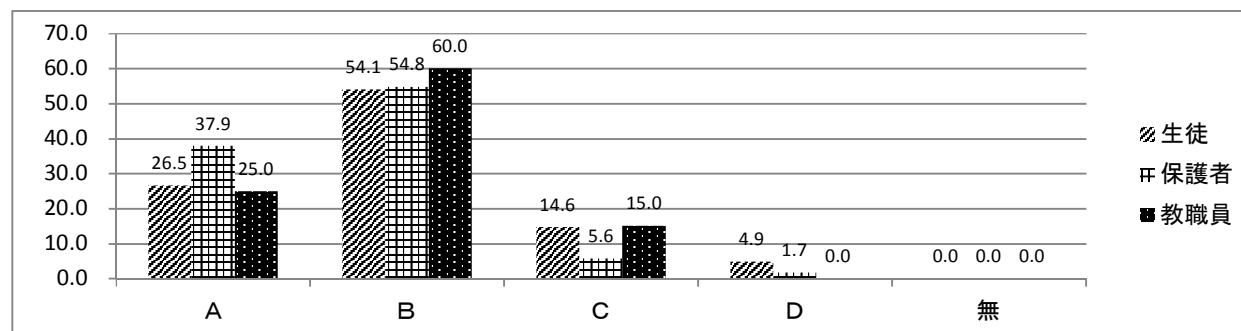
4 開かれた学校づくり ※()は教職員への質問

(18) あなたの保護者は、PTA事業（総会・授業参観・各種講演会等）に参加している
（私たちは、PTA担当者を中心にPTA行事の企画・工夫をし、その参加者増に努めている）

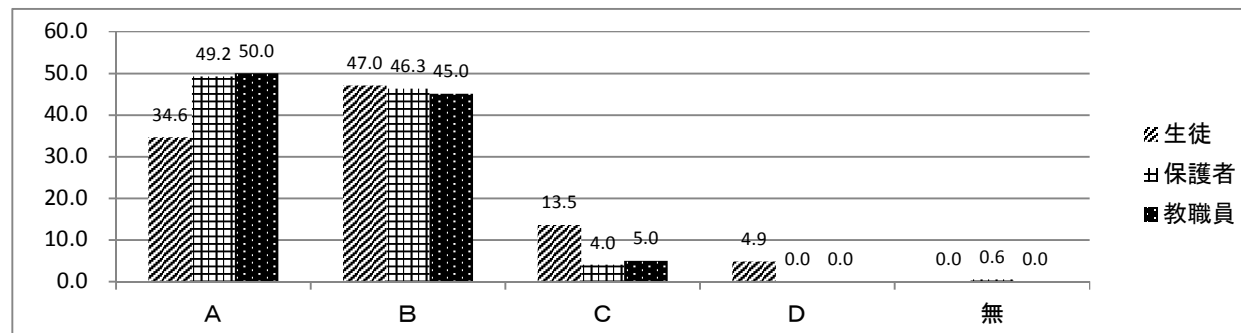
No.5



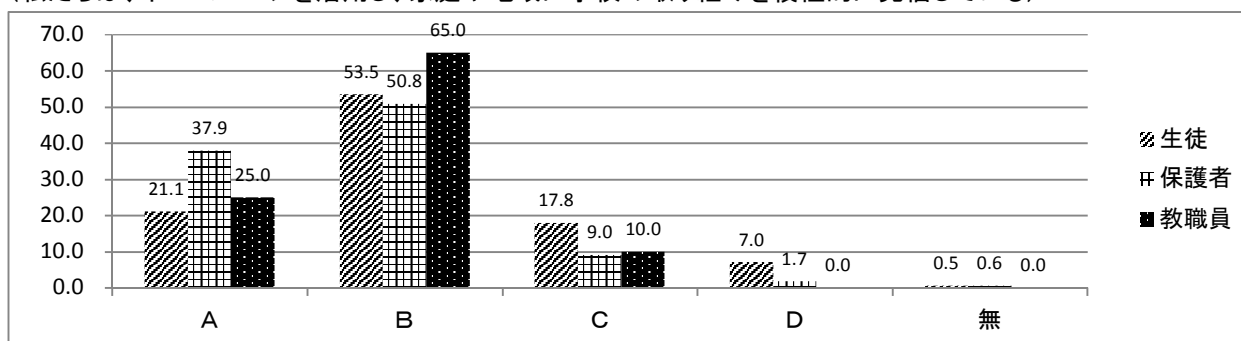
(19) 学校は、家庭や地域に学校主催の講演会等の案内や各種たより等で学校の動きを知らせている
（私たちは、家庭や地域に学校主催の講演会等の案内や各種たより等で教育活動状況を知らせている）



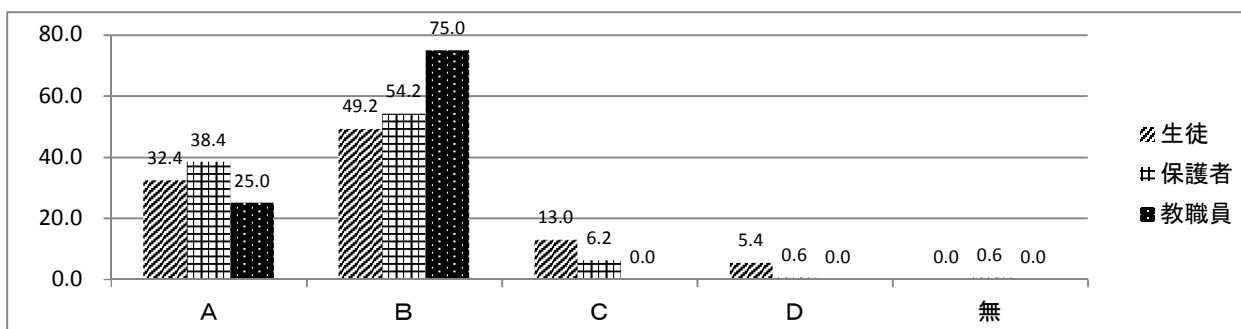
(20) 学校は、ボランティア活動等、地域の行事に積極的に参加し地域との交流に努めている
（私たちは、ボランティア活動等、地域の行事に積極的に参加し地域との交流に努めている）



(21) 学校は、ホームページを活用し、家庭や地域に学校の取り組みを積極的に発信している
（私たちは、ホームページを活用し、家庭や地域に学校の取り組みを積極的に発信している）



(22) 学校は、学校事故の未然防止に真剣に取り組んでいる
（私たちは、学校事故の未然防止に真剣に取り組んでいる）



平成31年2月

平成30年度学校アンケート結果について

1 年度末評価実施の目的、意図

学校経営・運営ビジョンのもと、本校教育活動全般についての評価を得ることにより、次年度の教育内容の改善と教育実績の向上を図ることを目的とした。

アンケート調査では、質問項目を精査し、生徒への質問では一部自身を振り返る内容にすることで、学校の取組がどの程度生徒へ浸透しているか確認できるようにした。

2 年度末評価結果の分析、及び結果概況

全体を通して見ると、生徒のほとんどがAまたはBの評価が多いことから、学校の取組が理解され、一定の評価を受けていると考えられる。

しかし、その一方で領域によってはなかなか改善されていない事項もあることから、来年度に向けて更に改善を図っていくことが必要である。

① 基礎学力の定着と向上について（教務－1，2，3）（保健－4）（図書－5）

(1) 「家庭学習の習慣化」【1－(1)】

保護者・教員とも80％肯定的だが、生徒は30％台で低迷している。3学年で上がっているが、特に2学年が32％と下がっているので、家庭学習の習慣化を教員が主導し、生徒が自主的に行うような手立てが必要である。

(2) 「わかりやすい授業の展開」【1－(2)】

生徒・保護者・教員とも概ね肯定的であるが、生徒の学年間でばらつきがある。2学年では85％に対して3学年では70％である。授業中の落ち着き度合いとも考えられるので、授業で生徒の能動的な活動を考えながら秩序ある指導をしていく必要がある。

(3) 「基礎学力向上（マナトレ）」【1－(3)】

保護者・教員とも肯定的だが、生徒は学年が進行するほど、肯定的な評価が少なくなっている。3学年に関しては、59％しか肯定していない。このため、3学年に関しては、教材を検討し、取り組んでいる事の意義を教員側でしっかり伝え取り組む必要がある。

(4) 「生徒の健康維持及び欠席・遅刻・早退」【1－(4)】

生徒・保護者・教員とも概ね肯定的で中学校で不登校だった生徒が、休みながらも登校はしている。1年生の75％は、欠席が多いと自覚している生徒が多いと思われる。今後自己の体調管理に十分配慮し、安易に欠席したり遅刻したりしないよう指導するとともにカウンセラー等と連携を図りながら登校できる環境づくりを行う。次年度は、小、中学校において不登校だった

生徒、前年度長欠の生徒について４月に全職員で共通理解し、配慮した指導ができるようにする。

(5) 「読書の環境作り」【１ - (５)】

肯定的評価が低い、学年が上がるにつれてわずかずであるが評価は高くなっている。それでも３年の生徒も半数に達しない。図書館ガイダンスなどをしたり、国語の授業で本の紹介などを行っているが、図書館に来る生徒は固定化している。朝の読書などを通じて少しでも本や文章に触れる機会を作るようにする。

② 豊かな心を育む生徒指導について（生徒指導部－６，７，８，９）（保健－１０，１１）

(6) 「挨拶の励行と生活習慣の確立」【２ - (６)】

１年生と３年生で生徒と保護者の間で大きく評価が分かれる。挨拶の励行についてはさわやかな新地高校生をイメージさせるためにも特に指導が必要であると感じるが、挨拶の返ってこない先生がいるという保護者の意見もある。他の学校にはない魅力的な学校を創ることが大切と感じる。

(7) 「各行事への積極的な参加」【２ - (７)】

今年度は公開文化祭が行われたが、全体的に生徒の意識が低い結果となっている。一部の生徒だけが準備に追われ、中には全てに無関心な生徒もあり、各種行事に参加するという気持ちを植え付けたい。

(8) 「生徒の問題行動や事故の未然防止」【２ - (８)】

全体的に肯定的な回答が多かった。しかし、保護者・教職員の目に見えない部分での問題も多い。特に携帯電話の使用方法や危険度を理解させることが大切で、あらゆる手段で問題行動を未然に防ぐよう細心の注意が必要と感じる。

(9) 「自転車のマナー向上」【２ - (９)】

１年生と３年生で生徒と保護者の間で大きく評価が分かれる。自転車ばかりでなく、歩行方法に問題があり、一般人からクレームがきたことがあった。一つ間違えれば命にも関わる事象であるので、更にマナーの向上を図りたい。歩きスマホや音楽を聴きながらの自転車走行は危険であるばかりでなく、法律にも抵触することを教えていかなければならない。

(10) 「学習環境整備（清掃活動）」【２ - (１０)】

全体的に概ね良好であるが、３年生が７８．１％と低い結果となった。１

年生頃からの清掃活動において勤労と協力の心を養うよう全職員による指導の積み重ねが必要である。全学年、学期末には計画的にロッカー及び机の中の荷物を持ち帰らせる。

(11) 「生徒の悩みを聴く体制」【2 - (11)】

生徒において1年生は63, 2%, 3年生は75%と低いが、保護者においては2年生の保護者が78, 3%と低い結果となった。面談及び指導等において教員は指導になり、生徒や保護者は自分の悩みや相談を受け入れてもらえないと感じているのではないかと思われる。教職員は、生徒を受容、共感し生徒との信頼関係を築く努力が必要と思われる。SCについて担任は、前日にSCの来校について生徒へ伝え希望を募るようにするとともに、保護者や生徒に39メールで3学期来校日を知らせる。

③ コース制の充実と進路指導（進路－12, 13, 14, 15, 16, 17）

(12) 「進路ガイダンス等の実施について」【3 - (12)】

概ね良好であるが、特に1、3学年で生徒と保護者間でのばらつきが見られる。保護者よりも生徒の評価が低いことから、今後も実施内容や時期を精選していく必要がある。

(13) 「地域の人材、企業の協力体制」【3 - (13)】

概ね良好であるが、2、3学年に比べ、1学年の評価が低い。アンケート実施時点で企業説明会や地域人材を活用した講話などが未実施のためと考えられる。今後計画通りに実施したい。

(14) 「就職・進学模試の実施」【3 - (14)】

概ね良好であるが、2学年に比べ、1、3学年の評価が若干低い。適性や現段階での実力を知る意味でも、各進路希望に応じた模試を全員受験にするなど対応していく必要がある。

(15) 「各種試験の活用」【3 - (15)】

2、3学年に比べ、1学年の評価が非常に低い。保護者の評価と44%の差があり、過半数が肯定していない。学年が低く、受験の機会が少ないということも考えられるが、各種資格取得に向けた情報提供と受験の奨励に向けた取組みを学校全体で横断的に継続する必要がある。

(16) 「進路の早期決定の整備」【3 - (16)】

保護者・教員とも肯定的であり、生徒評価も学年が上がるにつれ高くなっていることから、進路に対する意識が段階的に高揚していることが予想され

る。1 学年の評価が生徒と保護者の間で 25 %あることから、その差を少なくするよう今後も指導を継続したい。

(17) 「職業観の指導」【3 - (17)】

概ね良好である。引き続き指導を継続したい。

④ 開かれた学校づくり（教務－18, 19, 21）（生徒指導部－20, 22）

(18) 「PTA活動への参加」【4 - (18)】

保護者・教員とも肯定的だが、生徒は60 %台で低迷している。総会や学年行事の他、今年は公開文化祭が開催されてため保護者の参加率が向上したと考えられる。生徒のPTA行事への理解と家庭内のコミュニケーションが必要である。

(19) 「家庭への行事の通知」【4 - (19)】

保護者・教員とも肯定的だが、保護者は学年が上がるにつれて評価が若干下がっている。学校から家庭への連絡が学年を追う毎に希薄になっている。生徒は学年で分かれていて、2 学年は91 %、1、3 学年は77 %である。2 学年はインターンシップや修学旅行など大きな行事が行われたため連絡が密であった。学校と家庭をつなぐためにもインターネットの活用が必要である。

(20) 「ボランティア活動等への参加」【4 - (20)】

全ての学年で生徒と保護者の評価が大きく異なる。保護者が思っているほど生徒達は、ボランティアに参加していないことと判断する。積極的にボランティアに参加させるべく、もっとPRし参加させたい。

(21) 「ホームページの活用」【4 - (21)】

生徒・保護者・教員とも概ね肯定的であるが、1 学年の生徒の評価が63 %で他より低い評価である。その理由はHPの存在や利用していないからと考えられる。高評価の理由は、昨年度からホームページをリニューアルし、今年度から39メールを活用しているためと推測できる。

(22) 「学校事故防止」【4 - (22)】

1 年生の意識が特に低い。生徒への意識付けをしっかりと行って行かなければと感じる。